

【日程】

4月14日	第1回・第2回	6月9日	第15回・第16回
4月21日	第3回・第4回	6月16日	第17回・第18回
4月28日	第5回・第6回	6月23日	第19回・第20回
5月12日	第7回・第8回	6月30日	第21回・第22回
5月19日	第9回・第10回	7月7日	第23回・第24回
5月26日	第11回・第12回	7月14日	第25回・第26回
6月2日	第13回・第14回		

【講義予定】

- 第1講 国際社会と国際法の成り立ち
- 第2講 国際法の法源
- 第3講 条約法
- 第4講 国際法と国内法
- 第5講 国際法上の国家および在外国家機関
- 第6講 国家責任：救済義務の成立とその当事者

【受講に際して】

- レジュメをHPからダウンロードし、授業に持参すること。
- 授業後に、授業ノートの内容を参考文献などにより確認すること。
- レジュメの最後にある「基本論題」に答えられる程度を目安にノートを整理
- 質問事項があれば、授業中・後に、またはメールなどにより質問すること。

【テキスト】

- 杉原高嶺・他 『現代国際法講義第4版』有斐閣（2007年）
- 山本 草二・他 『国際法判例百選』有斐閣（2001年）
- 大沼保昭編 『国際条約集 2007年版』有斐閣

【参考文献】

- （1）国際法学会編 『国際関係法辞典』三省堂（1995年）
- （2）筒井若水編 『国際法辞典』有斐閣（1998年）

* 個々の問題に関する参考文献については、適宜、紹介する。